

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	総事業費	213,372千円		事業完了日	平成23年1月13日			
				交付金額	71,124千円			
	整備対象地域	鮭川村全域						
	事業の内容							
<p>鮭川村は過疎地域で、都市部との情報格差が拡大している。そこで、当該地域の情報通信格差を是正するため、村がFTTHによる光ファイバー網を整備し、その後、今事業の利活用の理解度が高く、運用サービス提供、保守、設備管理の実績がある東日本電信電話株式会社へIRU契約により施設を貸し出し、超高速インターネットサービスを提供するものである。なお、料金については、多様な料金形態を提供し、住民の要望に添ったサービスの展開を図るものである。</p> <p>また、同時に一斉メール配信システムを整備し、緊急時に登録されているメンバーへの一斉メール配信を行い、村民への災害情報の連絡に活用し、安心で安全な地域生活向上を図るものである。</p>								
BB	サービス開始日	平成22年12月1日						
	サービス形態	公設民営(IRU)						
	契約先	東日本電信電話株式会社						
		整備計画時の目標		実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	1,378	1,378	1,326	1,313	1,296	1,290	1,285
	加入世帯数	300	650	533	642	681	717	730
加入率(%)	21.8	47.1	40.2	48.9	52.5	55.5	56.8	
評価及び課題	<p>村のブロードバンド環境整備については、整備計画にて目標としていた加入世帯数・加入率をわずか数年という短期間で達成しており、十分に評価できるものであり、都市部との情報格差が是正が図られたと考えられる。</p> <p>高齢化やスマートフォンの普及により現在の加入率は伸び悩んでいる。今後は、高齢者向けに新たなブロードバンド活用法を検討することで加入率の向上を図っていくことが課題である。</p>							